協育NEWS

「協育」という波紋を拡げます

会報誌第15号
2015年５月5日発行
発行：NPO法人 大分県「協育」アドバイザーネット

会員のみなさんへ

『恕』の心を

理事長 園部 秀靖

私の関わっている鶴崎地区教育懇話会は「これで良いのか現在（いま）の教育」というテーマで教育講演会・シンポジュウムを開催した。ここで当地区在住の大先輩が閉会挨拶のなかで、聴衆にまとめの言葉として「『恕』の心の大切さ」を呼びかけた。

ここでハッと気づかされた思いがある。『恕』とは、人間の感情を表す「喜怒哀楽」の「怒」という漢字と似ていて全く否なるもの。辞書的には、「思いやり・ゆるす・大目にみる」の意。人は楽しさと苦しさを同居させながら生きているもの。現代社会の病理現象というべきか、心のコントロールが効かずに「怒」や「哀（悲）」の状況に陥っている人が増えているのではないか。これが子どもたちにも及んでいる。また、「分かり合う」・「察し合う」社会が中途半端に崩れていこうとしている。

今、学校現場の一番の課題は「いじめ・不登校問題」。多くの子どもたちの願いは「気持ちをわかってもらいたい」だ。大人たちの「良かれ」と思って一方的に叩き込んできたこと（「きちんとしなさい」・「もっと頑張ろう」等）を見直し、家庭や教室の中で互いに相手の身になって「思いやり」の心を取り戻すことが要ると思う。それには 「大きな口と小さな耳（言いたいことを言い合う・人の話を聞き入れない）」状況から抜け出すことだ。今後は活動を地域住民にも広げ、子どもたちが地域の「人・もの・こと」とつながるよう、地域の知恵を結集しながら「教育尊重の風土づくり」を強力に推進していきたい。

事業報告

第6期生「協育」アドバイザー養成講座中級編が終了！

早いもので第6期生を迎えた養成講座の中級編（3月14日（土）、15日（日））が、再受講者も含めて実施されました。今回の特色は子どもたちの現状から「家庭教育を見つめ直す」ことをテーマで、不登校や非行等の問題について、現場で取り組んでいる方や行政での取組などを交えたプログラムでした。もちろん、学校教育の現状と課題を含めて「教育の協働」をどう進めていくかについて熟議をとおして考えていきました。「協育」ネットも同じ思いを持つ仲間づくりのために企画・運営に協力しています。

講義1　学校教育の現状・課題と教育の協働の視点
講師:山崎清男教授　　実践事例:由布市立阿蘇野小学校長　伊東俊昭氏

講義2　地域社会の現状・課題と教育の協働の視点
講師:岡田正彦准教授

講義3　家庭教育の現状から、地域が関わる必要性を考える
実践事例講師　別府 地域子育て支援センター「にじのひろば」代表　村田広子氏

講義4　いじめの現状と対策及び相談機関に期待すること
講師:大分県教育庁生徒指導室　指導主事　草野茂生氏

講義5　子どものための「協育」を推進するコーディネーターの実際
熟議「学校教育の課題に対応する地域の教育資源（人・文化・産業等）を探そう」
講師　特定非営利活動法人スクール・アドバイス・ネットワーク 理事長　生重幸恵氏 中川忠宣教授

（各講座の資料）

（いじめの現状と対策）

（参加者でワークショップ）

（様々な課題と解決案！）

（講座終了証書授与）

＜受講者の声＞

○どのように企画提案すればよいのか良くわかりました。今後、様々な課題に面した時に、今回の学びを少しでも生かせるように活動していきたいと思います。

○山崎先生が話された「経験知」。これこそ今後の教育のキーワードであり、コミュニティ・スクールの中で大いに増やしていけるものだと思います。岡田先生が話された「志縁」という言葉も大変印象に残りました。もともと自分が生まれた地域に住んでいるので、この「地縁」と新しい「志縁」を生かし、「経験知」を増やしたり、交流の機会を増やしたり･･･の取組をしていきたいと思います。

○村田講師の講義で、別府のアウトリーチの特色が「学生さんのサポート」と話されていたので、学生さんの実際のサポートの様子や困り、大変なこと、良かったことなどを学びたいと思います。

○企画提案書を書くまでの研修させていただき、具体的なやり方が分かったので良かったです。

○コーディネーターの現場からはあまり関わりのないテーマもあるかな？と思っていましたが、行政や学校の様々な計画や課題・実情を知ることが出来、自分の活動をどうマネジメントしていくか、いかに充実させていくかに繋がる内容で、大変勉強になりました。

○自分の生まれた地域で何か活動が出来ないかを考えていきたいと思います。とてもいい経験をさせていただきました。たくさんのいいお話をこれからの頑張る力にしたいと思います。

こうした声をいただきました。これからは多くの方々に参加していただき、「協育」の活動を輪を広げるために、NPOとしての活動を頑張りたいと思います。（中川）

会員さんの活動紹介

① 江口　清美さん（3期生）　　放課後子ども教室活動

文科省受託事業、学校（先生）と子どもと地域（学生）をつなぎながら学校支援に取組むコーディネーターの役目

平成26年10月より5ヶ月間、石垣小学校4年生の児童を対象に放課後の大学生による学習支援活動を担当しました。子どもたちは、授業の時間内だけでは完全に理解できなかった部分などを大学生のお兄さんお姉さんに基礎から分かりやすく教えてもらっている姿はほのぼのとした様子でした。計算ドリル、漢字の書き取りや音読などの宿題を見守ってもらい、間違いを指摘され、スラスラとできることを褒めてもらうことで自信（笑顔）になり学習時間を楽しく過ごしていました。支援活動をしていて、子どもたちの学ぶ意欲が育っていることを感じながらも、習い事や他の用事で欠席する子もあり、継続する活動として定着するためには、参加し易い環境や時間などを学校側と一緒に解決していく必要を感じました。学校への地域支援はまだ種蒔き前の土壌作りの段階です。どんな苗でも育つように水はけと肥料の良い土のような地域を目標に頑張りたいです。現在の別府市内の学校へ地域の支援をコーディネートしていくことは、なかなか簡単なことではありません。「してもらえるなら有難い。しかし手順が面倒。」こんな風に思う先生が多いようです。学校を訪問するたびに感じるのは、職員室や教室の先生の様子は多忙であり、声をかけることさえ躊躇します。地域からは「自分の得意な分野で支援活動して喜んでもらえる。」と協力を惜しまない声を聞きます。しかしその声は、先生方へ届いておらず理解されていないようです。関わる際とても難しかったことは、いつでも声をかけて話し合える存在であるような信頼関係を日々の中で作り上げることでした。今後も担当者の熱意と行動力がフルに発揮できる環境を整えるための努力とその基盤をつくるように活動を続けていきたいと思います。

（大学生による学習指導）

（楽しく学習中）

（静かに学習に取り組んでいます。）

（楽器を使った学習）

② 須藤　里美さん（5期生）　　ハッピー里ちゃん「読み聞かせ」活動

絵本の読み聞かせを私が始めたきっかけは、叔母にダウン症の息子が生まれたということが根底にあります。
私が中学時代に従兄弟が生まれたのですが、思春期であった私は素直に事実と向き合うことは出来なかったのです。数年の月日が経ち、私の父が叔母の懸命なさまざまな活動に支援している姿を見るたびに気持ちが変わっていく自分がいました。やがて子どもを育てることになったときに、叔母の活動を直に見に行くようになっておりました。叔母の絵本の学習会に参加してみて、絵本の楽しさ実感したものです。その後、絵本の読み聞かせ活動へのお誘いがあり、少しずつ活動の輪が広がっていったものです。家庭文庫、学校への読み聞かせ、文庫間での勉強会等々。息子が通う小学校での読み聞かせ活動は、息子の学年から始めていきました。そのうち、幼馴染の友達が賛同してくれて、少しずつ仲間が増えていきました。「ぼちぼちいこか（絵本にあるように）」がモットーな私です。焦らずゆっくりやっています。中学校への読み聞かせ活動のきっかけは、「おばちゃん！中学校へは読み聞かせ来てくれないん？！」の中学生になった男の子からの一言でした。その言葉が忘れられず、ある会合で中学校の先生にお話ししていたのです。その一年後に実現する運びとなったのです。出来ないと思う前にやってみる！思えば叶う！の前向きな気持ちがいい方向にいったのだなって思っております。自分一人ではなかなか出来ませんが、素敵な仲間のお蔭で今の活動が出来ていることに感謝の日々です。何でも頼まれたら断らない！きっと自分を成長させてくれると信じて色んなことにチャレンジしながら走り回っています。

事務局よりお知らせ

(1) NPO法人大分県「協育」アドバイザーネット2015年定期総会の開催について（ご案内）

会場:大分県立社会教育総合センター第2研修室
日程:平成27年6月13日（土）　10:00～13:00
10:00～11:00　会員研修（スキルアップ－1）　講師 ： 矢野大和氏　テーマ:（仮）コーデイネータの力
11:05～11:50　定期総会
12:00～13:00　会員研修（スキルアップ－2）　テーマ:「1人1情報発信∩なにしちょん～」

（昨年の総会の様子）

会員のみなさまのご出席をお願いいたします。会員同士の交流の場として参加の方に昼食をご用意し、一緒に食事をとりながらみなさまの日頃の活動をおしゃべりしましょう。ご案内は往復ハガキで郵送します。昼食等の準備もありますので，必ず出席の有無をお知らせください。**※懇親会は17時から別府で開催します。会場等は追ってお知らせしますのでご参加の程よろしくお願いします。**

(2) 第34回 中国・四国・九州地区生涯教育実践研究会の開催について（ご案内）

会場:福岡県立社会教育総合センター　日時:平成27年5月16日（土）・17日（日）
1日目の実践発表②で，大分県代表の吉野中学校（PTA活動の心と体の栄養）と「協育」ネット会員の萱島かよさん（国東市における放課後子ども教室の取組）が発表します。2日目は，特別企画に「笑って元気」矢野大和さんがご登壇。詳細は，「協育」ネット事務局に問合せてください。（安達）

協育ネット広報部より

HP http://www.kyouiku-adviser.net/
FB https://www.facebook.com/kyouiku.advisesr.net

今年度から新しい紙面構成で発行してまいりましたが、会員の皆様いかがでしたでしょうか？広報部では会員の皆様の日々の活動やイベント紹介など掲載していきたいと考えています、また活動の人材支援お手伝い募集掲載も可能ですので情報をお寄せください。来年度は偶数月年6回の発行を目指していきたいと考えています。（上原）　masamichi.u625@gmail.com

事務局宛のメールでもOK！